

**ACCESSORY**

**Patent number:** JP11056425  
**Publication date:** 1999-03-02  
**Inventor:** YOSHIDA TATSUHIRO; NISHIZAKI TERUICHI  
**Applicant:** YOSHIDA KOGYO:KK;; NISHIZAKI:KK  
**Classification:**  
- **international:** A44C27/00; A61N1/10  
- **europen:**  
**Application number:** JP19970228975 19970812  
**Priority number(s):**

**Abstract of JP11056425**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide an accessory for wearing for activating a cell of an organism in a living body by combining a radioactive substance emitting minus ions into a ground metal by using a ceramic powder without losing a processing character and an outlook of the ground metal.

**SOLUTION:** This accessory is made of a metal containing a ceramic powder for emitting minus ions. There is a ceramic powder containing a radioactive substance for emitting minus ions for containing the metal of the accessory. There is a concrete example of a ceramic powder combining and pulverizing a radioactive rare earth ore containing thorium and uranium and a ceramic such as a zircon emitting infrared rays. Concrete examples for metals comprising with the ground metal are precious metals such as gold, silver, platinum, and further copper, brass, aluminum or the like. Containing amount of the ceramic powder in the ground metal is preferable between 2 to 30 wt.%.

---

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>A 44 C 27/00  
A 61 N 1/10

識別記号

F I

A 44 C 27/00  
A 61 N 1/10

審査請求 未請求 請求項の数4 FD (全3頁)

(21)出願番号

特願平9-228975

(22)出願日

平成9年(1997)8月12日

(71)出願人 390011914

株式会社ヨシダ興業

東京都台東区東上野1丁目26番2号

(71)出願人 593122424

株式会社ニシザキ

京都府京都市下京区堀川通高辻上ル吉水町  
344番地

(72)発明者 吉田 達弘

東京都台東区東上野1丁目26番2号 株式  
会社ヨシダ興業内

(72)発明者 西崎 照一

京都府京都市下京区堀川通高辻上ル吉水町  
344番地 株式会社ニシザキ内

(74)代理人 弁理士 芳村 武彦

(54)【発明の名称】 装身具

(57)【要約】

【課題】携行に便利で、繰り返し使用しても効果が低下せず、使用感が良好でしかも装身具としての装飾効果を有する健康材料を提供する。

【解決手段】マイナスイオンを発生させるセラミックス粉末を含有する地金を使用して装身具を構成する。

### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 マイナスイオンを発生させるセラミックス粉末を含有する地金からなる装身具。

【請求項2】 セラミックス粉末の含有量が2～30重量%、好ましくは5～20重量%であることを特徴とする請求項1に記載の装身具。

【請求項3】 金属粉末とマイナスイオンを発生させるセラミックス粉末を混合後加熱焼成し成形することを特徴とする請求項1又は2に記載の装身具の製造方法。

【請求項4】 溶融状態の金属にマイナスイオンを発生させるセラミックス粉末を均一に混合後成形することを特徴とする請求項1又は2に記載の装身具の製造方法。

### 【発明の詳細な説明】

#### 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、身につけることによって生体組織を活性化して血行や代謝を改善し、ストレスをやわらげ肩こり解消や疲労回復を促進する等健康状態を改善することのできる装身具に関する。

#### 【0002】

【従来の技術】 従来、肩こりの解消や疲労回復をはかるために、天然の放射性鉱物のイオン化作用に着目し、接着性樹脂と混合して布地、シート、紙等に接着し、健康材料として使用することが種々提案されている。（例えば、特公昭62-32948号公報、特開昭51-42382号公報、実公昭50-2695号公報）

しかしながら、これらの健康材料は放射性鉱物微粉末の結合剤として樹脂類を使用するものであり、布地、シート、紙等に付着させて、衣料や寝具等として用いられるものである。

#### 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 このため、繰り返し使用するうちに放射性鉱物微粉末が脱落し効果を奏さなくなる、衣料等として使用する際に着心地等の使用感が良くなく、また必ずしも携行に便利なものではない等の欠点があつた。したがって、本発明はこれら従来技術の欠点を解消し、携行に便利で、繰り返し使用しても効果が低下せず、使用感が良好でしかも装身具としての装飾効果を有する健康材料を提供することを目的とするものである。

#### 【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明では、上記目的を達成するために、マイナスイオンを発生させるセラミックス粉末を含有する地金を使用して装身具を構成するものである。本発明の装身具を身につけることによって、人体表面近辺のマイナスイオンを増加させて、生体組織を活性化して血行や代謝を改善し、ストレスをやわらげ肩こり解消や疲労回復を促進する等健康状態を改善することが可能となる。

#### 【0005】

【発明の実施の形態】 本発明で装身具とは、金、銀、ブ

ラチナ等の貴金属からなる一般に宝飾品と呼ばれているもの、及び銅、真鍮、アルミニウム等に適宜メッキ等を施した一般にアクセサリーと呼ばれているものを意味する。装身具の形態としては特に制限はなく、例えばブレスレット、ネックレス、ペンダント、ブローチ、指輪、ピアス、イヤリング、カフス、時計のバンド及びケース、眼鏡のフレーム、眼鏡用チェーン等が挙げられるが、特に好ましいものとしては、直接肌に接触しある程度の表面積を有するブレスレット、時計のバンド及びケース等板状のものが挙げられる。これらの装身具は表面積を増加させるために、表面に凹凸加工を設けたものとしてもよい。

【0006】 本発明で装身具の地金中に含有させるマイナスイオンを発生させるセラミックス粉末としては放射性鉱物を含有するセラミックス粉末が使用され、例えばトリウムやウラン等を含む放射性レア・アース鉱石と、遠赤外線を放射するジルコン、ジルコニア、アルミナ、シリカ等のセラミックスを混合し、粉碎、焼成後適宜補助剤を添加混合した後、微粉碎、分級したセラミックス粉末が挙げられ、具体例としては株式会社ニシザキにより販売されている「N, N-パウダー」がある。従来、健康材料に使用されている放射性鉱物を単に微粉末化したもののは、装身具を構成する地金中に混合することができなかつたが、本発明では上記のような放射性鉱物を含有するセラミックス粉末を使用することによって、はじめて地金中に混合することが可能となり、マイナスイオンを発生させる金属製の装身具を実現したものである。

【0007】 本発明で装身具の地金を構成する金属としては、金、銀、プラチナ等の貴金属のほかに銅、真鍮、アルミニウム等一般にアクセサリー類に使用されるものが使用されるが、好ましい材料としては各種の貴金属及びその合金類が挙げられる。貴金属類を使用した場合には、高級感のある装飾効果と改善されたマイナスイオン発生効果を得ることができる。

【0008】 これらの地金中のセラミックス粉末の含有量は、地金全体の2～30重量%とする。セラミックス粉末の含有量が2重量%未満では充分なマイナスイオン発生効果が得られず、また30重量%より多量のセラミックス粉末を含有させた場合には、地金に割れが生じる等加工性が悪くなることがある。セラミックス粉末の含有量を5～20重量%とした場合には、充分なマイナスイオン発生効果と優れた加工性を有する地金が得られるので特に好ましい。

【0009】 本発明で地金中に含有させるセラミックス粉末には、トリウムやウラン等の放射性物質が含まれるので、本発明の装身具からは人体に悪影響のない程度の放射線が放出され、酸素、窒素、水分、二酸化炭素等の大気中の成分に作用してマイナス電荷を持った電子 $e^-$ を放出させる。この電子 $e^-$ は、水、二酸化炭素と反応してマイナスイオンを生成する。

【0010】このようにして生成した初期のマイナスイオンや同時に生成するプラスイオンは、異符号のイオンと再結合して電荷を失ったり、周囲に存在するエアロソル（主として水の集合体）に付着して、より大きな帶電粒子となる。自然界では電子やマイナスイオンは大気中に発散しやすいが、一方プラスイオンは地表付近に滞留しやすく、都会や室内では一般にプラスイオンの方が多く存在する。プラスイオンは刺激、興奮作用がありその量がある程度以上になると健康に悪影響を及ぼすと言われている。

【0011】本発明の装身具を身につけることによって、人体表面近辺のマイナスイオンの量が増加し、生成したマイナスイオンが肺や皮膚等から人体に吸収されると、生体組織を活性化して血行や代謝を改善し、ストレスをやわらげる等の鎮静効果と、肩こり解消や疲労回復を促進する等種々の健康増進効果を奏する。また、マイナスイオンと放射線の相乗効果によって抗菌、消臭作用等をも奏するものである。したがって、本発明の装身具は従来から知られている磁気ネックレス等とは、根本的にその作用機構を異にするものであり、優れた効果を奏するものである。

【0012】本発明で装身具を構成する地金中にマイナ

スイオンを発生するセラミックス粉末を含有させるには、（1）金属を粉末化しセラミックス粉末と均一に混合後、加熱焼成するか、（2）加熱溶融状態の金属にセラミックス粉末を添加し均一に混合する等の方法により行うことができる。また、地金の装身具への加工は常法により行うことができる。

【0013】

【実施例】つぎに、本発明を実施例により説明するが、以下の実施例は本発明を限定するものではない。以下の実施例では、マイナスイオンを発生させるセラミックス粉末として、株式会社ニシザキ製「N, N-パウダー」を使用した。

【0014】（実施例1～3）ルツボにヤスリで粉末状に加工した18金地金10gと、所定量のN, N-パウダーを入れ、水数滴を添加してペースト状になるまで混合した。つぎにホウ砂0.5gを加えて混合後、約100℃に加熱焼成して装身具用の地金を得た。N, N-パウダーの添加量、加熱時間及び得られた地金の重量を表1に示す。

【0015】

【表1】

	18金粉末 重量(g)	N N-パウダー 添加量(g)	加熱時間 (分)	地金重量 (g)
実施例1	10.0	1.0	10	9.8
実施例2	10.0	1.5	15	9.7
実施例3	10.0	2.0	20	9.2
比較例1	10.0	-	4	10.0

【0016】N, N-パウダーを混合した場合には、ルツボに付着物が付くために、得られる地金の重量は原料の合計量よりは少なくなる。パウダーの混合率が高くなると溶解時間が長くなり、得られる地金の量は減少した。一般に金地金に他の鉱物を混合溶解した場合には、冷却固化後地金にヒビ割れが発生するが、上記実施例1～3で得られた地金ではヒビ割れは発生しなかった。これらの地金を常法により加工してプレスレットを作成したが、加工性は通常の金地金と同様であり、またその色にも特に変化はなかった。本発明で得られたプレスレットを着用することによって、皮膚表面の汗等の水分をイオン化させて、マイナスイオンを増加させ、生体組織を活性化して血行や代謝を改善し、ストレスをやわらげ肩こり解消や疲労回復を促進する等健康状態を改善することが可能となる。

【0017】

【発明の効果】本発明は、マイナスイオンを発生させる放射性物質をセラミックス粉末を使用することによって、地金の加工性や外観を損なうことなく装身具の地金中に混合可能としたものである。本発明の装身具を身に付けることによって、人体表面のマイナスイオンの量が増加し、生体組織を細胞レベルで活性化して血行や代謝を改善し、ストレスをやわらげる等の鎮静効果と、肩こり、腰痛や神経痛等を解消して疲労回復を促進する等種々の健康増進効果を奏する。また、マイナスイオンと放射線の相乗効果によって抗菌、消臭作用等をも奏するものである。そして、本発明の装身具は従来の健康材料とは異なり携行が容易であり、使用時の異和感がなく、しかも繰り返し使用してもその効果は低下せざりわめて実用的価値が高い。

**ADDITIVE POWER FOR MANUFACTURING ORNAMENT**

**Patent number:** JP11299515  
**Publication date:** 1999-11-02  
**Inventor:** YOSHIOKA TETSUO  
**Applicant:** YOSHIOKA TETSUO  
**Classification:**  
- **international:** A44C27/00; A61N1/10; A61N2/08; A61N5/06  
- **european:**  
**Application number:** JP19980124274 19980416  
**Priority number(s):**

**Abstract of JP11299515**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To impart a health promoting effect and a tranquilizing effect by means of a complex work between a minus ion effect owing to the electric work of tourmaline and a magnetic work owing to magnetite by mixing a tourmaline powder material with an energy exchange material powder body and preparing a mixed powder body.

**SOLUTION:** The tourmaline powder material is mixed with the energy exchange material so as to prepare additive powder for manufacturing an ornament. The mixed powder body is favorable to be the one containing the magnetic powder body. The tourmaline powder body is a substance for irradiating far infrared rays of a stable wave length even in the range of 30-36 deg.C temp., an electric stimulation is given on a skin surface by wearing it, a cellular tissue is stimulated by the syncretistic effects and metabolism and blood circulation are promoted. One or plural kinds of components selected from the group consisting of barium, sluminam, nickel, copper, iron, sodium, boron, beryllium and silicon are used as the energy exchange material.

---

Data supplied from the [esp@cenet](mailto:esp@cenet) database - Worldwide

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

A 44 C 27/00

A 61 N 1/10

2/08

5/06

識別記号

F.I

A 44 C 27/00

A 61 N 1/10

5/06

1/42

A

H

審査請求 未請求 請求項の数4 FD (全3頁)

(21)出願番号

特願平10-124274

(22)出願日

平成10年(1998)4月16日

(71)出願人 394005410

吉岡 鐵夫

福井県福井市今市町第63号3番地の10

(72)発明者 吉岡 鐵夫

福井県福井市今市町第63号3番地の10

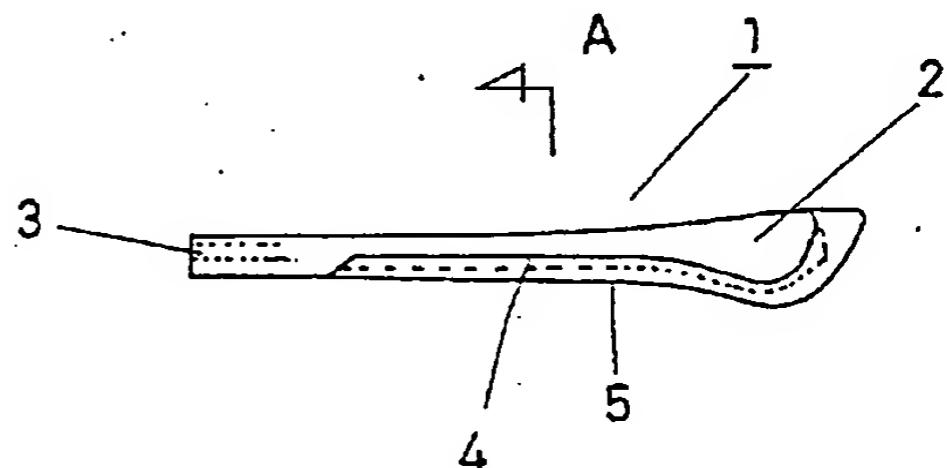
(74)代理人 弁理士 西 孝雄

(54)【発明の名称】 装身具製造用の添加材料粉末

(57)【要約】

【課題】 樹脂、セラミックス、七宝等の装身具の材料物質に添加する粉状の添加材に関し、遠赤外線効果や磁気効果に加えてマイナスイオン効果の複合作用により、優れた健康増進作用や精神安定化作用を装身具に付与することが可能な原料物質を提供する。

【解決手段】 トルマリンの粉状体とエネルギー交換材料の粉状体とを含み、更に好ましくは、磁鉄鉱の粉状体を含む混合粉状体である。エネルギー交換材料としては、ベリウム、アルミナ、ニッケル、銅、鉄、ナトリウム、硼素、ベリリウム及び珪素の一ないし複数種を用いる。エネルギー交換材料から放射される遠赤外線効果と、トルマリンの電気作用によるマイナスイオン効果と、磁鉄鉱を用いたことによる優れた磁気作用とが複合して人体に作用し、より優れた健康増進効果や精神安定化効果が得られる。



### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 トルマリンの粉状体とエネルギー交換材料の粉状体とを含む混合粉状体からなることを特徴とする、装身具製造用の添加材料粉末。

【請求項2】 混合粉状体が磁鉄鉱の粉状体を含む混合粉状体である、請求項1記載の装身具製造用の添加材料粉末。

【請求項3】 エネルギー交換材料がベリウム、アルミナ、ニッケル、銅、鉄、ナトリウム、硼素、ベリリウム及び珪素からなる群から選ばれた一ないし複数種の成分からなっている、請求項1又は2記載の装身具製造用の添加材料粉末。

【請求項4】 エネルギー交換材料の各成分の割合がベリウム15～19重量%、アルミナ20～24重量%、ニッケル3～7重量%、銅8～12重量%、鉄17～21重量%、ナトリウム0.5～2重量%、硼素0.5～2重量%、ベリリウム0.1～1重量%及び珪素4～8重量%である、請求項1、2又は3記載の装身具製造用の添加材料粉末。

### 【発明の詳細な説明】

#### 【0001】

【発明の属する技術分野】 この発明は、樹脂製、セラミックス製、七宝等の材料からなる装身具ないしその部品を製造する際に、それらの材料物質に添加して、健康増進作用や精神安定化作用を付与するのに用いる粉末材料に関するもので、たとえば眼鏡フレーム、イヤリング、ネックレス、プレスレット、指輪、ネクタイピン等の装身具ないしそれらに用いる部品を成形する際に、また装身具ないしそれに用いる部品に塗布する装飾用塗料を製造する際に、その材料物質に添加する粉状の添加材に関するものである。

#### 【0002】

【従来の技術】 磁石用原料粉末と遠赤外線放射材料粉末とを混合して焼成することにより、磁気による人体の血行促進効果、動植物や土壤水などを活性化する効果及び遠赤外線による血行促進及び新陳代謝促進効果を人体に与える複合材料を得ることは、特開平9-55309号公報に開示されている。また永久磁石材料粉末と遠赤外線放射材料粉末とに樹脂、ゴム等のバインダーを加えて所定形状に成形することにより、磁気による血行促進効果と遠赤外線による血行促進効果、神経繊維活性化効果、鎮痛効果等を人体に及ぼすことができるようになした複合材料が特開平5-347206号公報に開示されている。さらに遠赤外線放射材料としてトルマリンを用いることが前記特開平9-55309号公報に開示されている。一方、特開平5-347206号公報記載の発明では、遠赤外線放射材料として黒鉛、焼成白磁、アルミナ、酸化第一鉄、炭化珪素、炭素、マグネシア、シリカ等が用いられている。

#### 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 この発明は、上述したような従来のこの種材料の遠赤外線効果や磁気効果に加えて、トルマリンが有するマイナスイオン効果をより良く発揮させ、それらの複合作用により、従来のこの種材料よりも優れた健康増進作用や精神安定化作用を装身具に付与することが可能な原料物質を得ることを課題としており、樹脂成形品、七宝、セラミックス成形品及び装飾用塗料を製造するときにその原料に添加して広汎な用途に用いることが可能な材料粉末を得ることを課題としている。

#### 【0004】

【課題を解決するための手段】 請求項1の装身具製造用の添加材料粉末は、トルマリンの粉状体とエネルギー交換材料の粉状体とを含む混合粉状体からなることを特徴とする。また請求項2の発明は、上記混合粉状体が磁鉄鉱の粉状体を含む混合粉状体であることを特徴とするものである。

【0005】 エネルギー交換材料としては、ベリウム、アルミナ、ニッケル、銅、鉄、ナトリウム、硼素、ベリリウム及び珪素からなる群から選ばれた一ないし複数種の成分を用いることができる。エネルギー交換材料の成分の割合は、ベリウム15～19重量%、アルミナ20～24重量%、ニッケル3～7重量%、銅8～12重量%、鉄17～21重量%、ナトリウム0.5～2重量%、硼素0.5～2重量%、ベリリウム0.1～1重量%、珪素4～8重量%であることが好ましい。

#### 【0006】

【作用】 前述したように、体表面に磁石や遠赤外線放射物質などを接触させることによる微弱な磁気作用や遠赤外線作用により、血行の促進や精神の安定化などを図ることは従来から行われている。この発明では一步進んで、エネルギー交換材料にから放射される遠赤外線効果と、トルマリンの電気作用によるマイナスイオン効果と、磁鉄鉱を用いたことによる優れた磁気作用とが複合して人体に作用し、より優れた健康増進効果や精神安定化効果が得られる。

【0007】 トルマリン粉状体は、電気石と呼ばれる結晶鉱物のトルマリン鉱石を粉碎したもので、空気中に含まれる水分に対して微弱な水の電気分解を行い、負電荷をもった分子（ヒドロキシリオン）を発生し、肩こり、神経痛、リウマチ、冷え症、腰痛、荒れ性、打ち身、捻挫、霜焼け及びあせもの治療、疲労回復、安眠並びに体質改善に優れた効果（マイナスイオン効果）を発揮する。

【0008】 またトルマリン粉状体は、30～36℃の温度域にあっても安定した波長の遠赤外線を放射する物質であり、身に付けることにより皮膚表面に電気的な刺激を与えると同時に遠赤外線を放射し、これらの相乗効果により細胞組織を刺激して新陳代謝や血液の循環を促進させる。

【0009】一方、エネルギー変換材料に含まれる鉄や珪素は、静磁界をシールドし、アルミナ及びニッケルは静磁界あるいは周波数が低い電界をシールドし、銅は高周波数域でシールドする。このようなエネルギー変換材料は、電磁波をシールドすると共に電磁波のエネルギーを共存するトルマリン粉状体に与え、前記トルマリンの電気的特性をより良く発揮させる。磁鉄鉱はその磁力がトルマリンに作用してトルマリンに微弱電流を発生させ、皮膚表面に電気的な刺激を与える。

【0010】

【発明の実施の形態】図1及び図2は、パッド部をこの発明の添加材料粉末を混合した樹脂成形品としたメガネ枠用のモダンを例示した図である。モダンは、主として金属製メガネ枠のテンプルの耳掛け部分に用いられる樹脂製のメガネ部品であり、耳に直接当接する部分にパッド部が設けられている。

【0011】図のモダン1は、ポリカーボネートで成形した鞘部2を備えている。鞘部2は前端（テンプルに挿通する側）が幅狭で、後端に向かって上下幅が漸次広くなっている。前端から後端に向かって軸方向にテンプルの耳掛け部を挿通するための有底の中心孔3が設けられている。鞘部2の下側後半部には、その長手方向に沿って、支持突起4が下向きに突設されている。この支持突起4に断面U字形のシリコンゴム製のパッド部5が付着している。

【0012】モダン1を製造するときは、ゴム原料に加硫剤、加硫促進剤、補強剤、充填剤、老化防止剤及び軟化剤を配合してシリコンゴムを製造し、練りローラで熱入れをして可撓性を増してから成形機で断面U字形のシリコンゴム製のパッド部5を成形する。このパッド部5を金型の所定位置にセットし、ポリカーボネート樹脂液を圧入して鞘部2を成形する。

【0013】モダン1を製造する他の方法としては、シリコン樹脂で鞘部2を成形し、この鞘部を金型の所定位置に固定して当該金型にポリウレタンゴムを流し込んで、支持突起に接着した断面U字形のポリウレタンゴム

製のパッド部5を成形する方法がある。

【0014】上記いずれかの方法で鞘部とパッド部とを二重成形して一体化するときは、鞘部を形成する樹脂とパッド部を形成する材料との物性値を考慮して、その成形方法を適宜選択する。更にこのようにして一体化した鞘部やパッド部に、模様を形成する部品やワンポイント部品を同時に又は同様な方法を繰り返すことにより一体化することができる。

【0015】パッド部5を成形する前のゴム原料には、トルマリンの粉末と共に、ベリウム、アルミナ、ニッケル、銅、鉄、ナトリウム、硼素又は珪素の粉末を添加する。添加剤の好ましい成分の割合は、ベリウム15～19重量%、アルミナ20～24重量%、ニッケル3～7重量%、銅8～12重量%、鉄17～21重量%、ナトリウム0.5～2重量%、硼素0.5～2重量%、ベリウム0.1～1重量%及び珪素4～8重量%である。更に上記添加材料と共に磁鉄鉱の粉末を混合することができる。磁鉄鉱の粉末はその磁力をトルマリンに作用させてトルマリンに微弱電流を発生させる。

【0016】この発明の添加材料粉末を樹脂に混合して成形する際の、バインダとなる樹脂としては、ポリカーボネート（PC）、アセテート、セルロイド、シリコン、軟質塩化ビニル樹脂、ウレタン樹脂、アクリル樹脂などの合成樹脂又は天然ゴムやその誘導体、合成ゴムを使用することができる。合成ゴムとしてはSBR、BR、NBR、CR、ステレオゴム、オレフィンゴム、多硫化ゴム、ポリウレタンゴム、シリコンゴム、フッ素ゴム、ニトロソゴムなど各種のゴムを使用することができる。

【図面の簡単な説明】

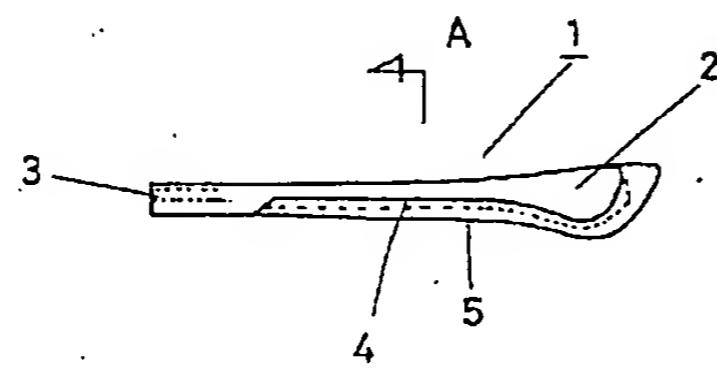
【図1】装身具の例を示すメガネ枠のモダンの側面図

【図2】図1のA部断面図

【符号の説明】

- 1 モダン
- 5 パッド部

【図1】



【図2】

